

特集

# 今日はどの公園へ行こう

今月の表紙



グルービー<sup>もみ</sup>の木公園に遊びに来ていた仲良し親子。広い公園には自然と興味を引かれるものがたくさん。いっぱい遊んで大きくなあれ。

## 「選ばれるまち」には理由がある

皆さんは、大東建設株式会社が実施している「街の住みこころランキング」をご存じですか。これは、自分が住んでいる自治体の住みやすさを評価する居住満足度調査で、村は北関東版・茨城県版ともに6年連続で第2位を獲得。生活利便性や行政サービス、親しみやすさなどが好評を得ています。

また、新婚世帯の転入費用の一部をサポートする「とうかい住まいる応援補助金」の申請者アンケートの結果をみると、村を選んだ決め手として「子育て環境の充実」「自然環境や景色の良さ」と並んで「公園や道路などの住環境の良さ」が挙げられています。

子どもと遊んだり、自然の中で過ごしたり、仲間と集まって運動したりすることが出来る「公園」は、これらの要因を満たす万能な施設なのかもしれません。

村のあちらこちらに整備されている公園。実は、「選ばれるまち東海村」の大きな魅力といえそうです。

## 公園が身近にある日常

村には、公園がいくつあるでしょうか。

答えは62か所(令和8年5月現在)。半径4キロメートルのコンパクトなまちであるにもかかわらず、誰もが知っている大きな公園や自然が豊かな公園、住宅街にある小さな公園など、さまざまな種類の公園が数多く整備されています。

公園での楽しみ方もさまざまで、遊具遊びや虫・草花探し、散歩・運動などの健康づくりや読書など、年齢や目的に応じて過ごし方は異なります。しかし、誰にも共通するのは、友達や地域の方と交流したり、リフレッシュしたりする場の一つであるということ。公園は、皆さんの日々の生活を豊かにする役割を担っているといえるのではないのでしょうか。

普段、何気なく利用している公園が身近にある日常は、当たり前ではなく、特別なことなのかもしれません。新緑が美しい季節となった今、あなただけの魅力を見つけに、公園へ出掛けてみませんか。

## 公園の健康効果

自然の中で  
20~30分  
過ごすことで  
ストレス軽減  
に効果的

【出典】ミシガン大学  
MaryCarol Hunter博士  
「フロンティアーズ・イン・  
サイコロジー」

一日2時間の  
外あそびが、  
近視の進行を  
緩やかにする

【出典】公益社団法人  
日本眼科医会ホームページ

太陽の光で  
ビタミンDが  
つくり、  
骨を丈夫にする

【出典】公益社団法人  
日本ビタミン学会  
『ビタミン』94巻9号



阿漕ヶ浦公園



駅東第3公園



舟石川近隣公園



グルービー<sup>もみ</sup>の木公園



駅東第4公園

# 今日は グルービー 縦の木公園へ行こう!



公園の概要  
 場所：村松2108地先 名称：神楽沢近隣公園(ネーミングライツにより、愛称が「グルービー縦の木公園」となっている)  
 開園：令和6年4月  
 設備：

- トイレ
- 多目的トイレ
- 駐車場あり
- 犬の散歩OK
- 健康遊具
- 子ども用遊具
- ボールOK
- テントOK

グルービー縦の木公園は、広い芝生広場を活用してイベントを開催できるのも大きな魅力です。5月10日には、一般社団法人ラフエット・デラーブルと一般社団法人地域防災リーダーズ協会の共催で、「ラフエット・デラーブル×わくわくDAY キャンプ」が行われました。お天気キャスターで気象予報士・防災士でもある矢澤剛さんから学ば「ごみ袋でポンチョづくり&防災クイズ教室」や応急手当体験などを通して、いざというときに役立つ知識を学んだり、キッチンカーやワークショップを楽しんだりした来場者たち。思い思いの楽しみ方で、充実した一日を過ごしていました。



大きな滑り台やバスケットボールコート、広い芝生広場や湧き水が流れる小川が特徴の「グルービー縦の木公園」。土・日曜日には、さまざまな遊具で遊ぶ子どもたち、レジャーシートや簡易テントを広げてくつろぐ家族連れなどにぎわいます。

イベントを楽しみに  
来ました



川遊び！すべり台！



この公園の  
好きな  
ところは？

アスレチック！



すべり台  
たのしい！



芝生で遊ぶのが  
楽しい！



編集者の選んだ 公園おすすめマップ



**舟石川近隣公園**  
広い芝生と赤いネットの遊具が印象的。



**白方公園**  
夏の夜はホタルを観察できます。



**駅西第4児童公園**  
遊具で遊びながら、走る電車をみることができます。



**駅東第4公園**  
休日は親子連れでにぎわいます。



**駅東第3公園**  
ロケットと太陽系の惑星がモチーフの公園です。



**阿漕ヶ浦公園**  
遊具広場やウオーキングコースもあります。



「いつもの公園」を楽しむ人がいる

公園を歩いて笑って、  
元気な毎日へ

舟石川近隣公園には、週に二回、「カーン」という軽やかな音とともに、歓声や笑い声が響きます。グラウンドゴルフを楽しむのは、70歳代から90歳代の高齢者クラブの皆さんです。グラウンドゴルフは、専用のクラブでボールを打ち、かご状のホールポストにボールが入るまでの打数の少なさを競うスポーツで、ゴルフに良く似ています。1コースが8ホールで構成されています。

グラウンドゴルフは、意外にも歩くスポーツで、2時間程度プレーすると約4000歩、距離になると約2.8キロメートルにもなります。

参加者の一人は、「健康の秘訣は歩くこと」「私にとってグラ



ウンドゴルフは、健康づくりだけでなく、仲間と共に楽しく過ごすことができる貴重な場なんです」と話します。

仲間と体を動かし、笑顔で過ごす。その姿は、地域の公園が健康づくりと交流の拠点であり、大切な場所だということに改めて感じさせてくれます。

「いつもの公園」を守る人がいる

安心して使える  
公園のために



環境保全事業株式会社  
小松 静也 さん

グルービーの木公園や阿漕ヶ浦公園などの指定管理者として公園の維持管理に取り組む。

環境保全事業株式会社の工事主任として、村の公園を管理し続けて10年目となる小松さん。誰もが安心して使える公園を守るため、日々、草刈りや樹木の剪定、トイレ掃除、ごみ拾いなどを行っています。

「これからの時期は、草や芝が伸びるスピードや暑さとの闘いです」と話す小松さん。夏場は草刈りの回数が増えるため、体力の消耗も大きく、負担がかかる作業です。その中でも、きれいな公園を保つ秘訣は、作業員同士でそれぞれが担当した区域をチェックし合いながら整えること。どんなに疲れていたとしても、仲間からの厳しい



「この段差でもつまずいてしまうことがあるので、ケガにつながるかもしれない。私たちがその可能性を減らすことで、子どもたちには、公園で思いっきり遊んでもらいたいです」と話す笑顔には、職人としてのプライドと優しさがにじんでいます。

魅力あふれる村の公園を、子どもから大人まで、たくさんの方に楽しんでほしい。そう願う小松さんは、これからも安心して使える公園を整備し続けます。

チェックで指摘されないクオリティを目指して、みんなで切磋琢磨しています。

そんな小松さんが作業をする際にこだわっていることは、芝生と歩道の境目に段差をつくらないこと。「小さなお子さんは、ほんの少しの段差でもつまずいてしまうことがあるので、ケガにつながるかもしれない。私たちがその可能性を減らすことで、子どもたちには、公園で思いっきり遊んでもらいたいです」と話す笑顔には、職人としてのプライドと優しさがにじんでいます。